

第1学年 防災学習指導案（特別活動）

日 時 令和4年9月29日（木）
場 所 1年教室
児 童 9名
指 導 者 丹 百合
三浦由美子（学習支援）

題材について			
題材名	わたしたちの岩手山		
目標	身近にある山の素晴らしさや危険について知り、火山防災に関する自己の現状を理解し、危険を回避する態度や能力を養う。		
指導内容	<p>本題材は、今後の防災学習に関心をもって臨むことができるよう、「防災学習の入り口」として設定した題材である。生活科の学習や行事を通して地域の自然のよさに十分に触れ、地域の自然に対する愛着を深めた上で、特別活動で「火山防災」について考えていく構成となっており、地区内にある「舘山」、遠足で登頂する「八幡平」、そして「岩手山」という3つの山を取り上げていく。</p> <p>本時では、「岩手山」について生活科で学習した次時として、初めて「火山防災」という視点で危険回避について考えていく。防災訓練で子どもたちが不安に感じたことを基に課題を設定することで、火山防災を自分のこととして捉えられるようにする。また、上級生が火山防災について学んでいる内容を紹介することで、危険回避行動をイメージしやすくし、具体例を手掛かりに、意思決定ができるようにする。</p>		
児童の実態	<p>児童は一学期、生活科や行事を通して「舘山」と「八幡平」の自然について学び、実際に二つの山に登ることで愛着を深めてきている。「岩手山」についても、前時の学習で、その自然の素晴らしさや恵みについて学んでいる。</p> <p>しかし、「火山防災」という視点をもって学習に臨むことは初めてである。1学期に行った防災意識アンケートの結果を見ると、「岩手山が噴火したことがありこれからもその可能性がある」と知っているか」について肯定回答した児童は1名であり、自分の身近に「火山」があるとの認識自体が薄かった。その後、今月4日に行われた八幡平市総合防災訓練に参加することで、火山噴火の際の避難の意味や避難方法の概要を1年生なりに理解したところであるが、怖さや疑問、不安ばかりが大きくなっている実態である。</p>		
指導計画	<p>第1時：八幡平を知り、愛着をもつ。（生活科）</p> <p>第2時：遠足の行程を知り、マナーや楽しみ方について考える。（特別活動）</p> <p>時間外：八幡平遠足（行事）</p> <p>第3時：八幡平遠足を振り返りながら愛着を深める。（生活科）</p> <p>第4時：岩手山を知り、愛着をもつ。（生活科）</p> <p>第5時：火山防災について考える。（特別活動）（副読本 P2, P10, P11）【本時 5 / 5 時】</p>		
本時の指導			
防災教育項目	I 火山噴火について知る C 火山噴火に係る災害と避難の必要性について III 地域の火山被害、火山の恩恵を知る C 火山の恩恵・利用を知る		
目標	「岩手山」の噴火について知り、火山防災に関する自己の現状を理解し、危険回避に結びつく態度や能力を養う。		
主体的な学び	つきたい力	手立て	評価規準
	火山防災について、自分のこととして現状を理解し、危険回避のために自分が取り組んでみたいことについて考える力	防災訓練で不安に感じたことを基に課題を設定することで、防災を自分のこととして捉えられるようにする。上級生の学ぶ姿を紹介することで、危険回避行動の具体をイメージできるようにする。	火山防災について自分の現状を理解し、危険回避のために自分が取り組んでみたいことを考えている。 (発言、ワークシート)

本時の展開		
	学習活動と予想される児童の反応（・）	指導上の留意点と資料（◆）
導入 10分	<p>1 前時想起を行い、「岩手山」の素晴らしさと危険について確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・木や作物がよく育つ。 ・珍しい風景 ・温泉 ・湧き水 ・地熱（発電、染色） ・噴火する。 <p>2 学習課題を把握する。</p> <p>(1) 防災訓練で不安に思ったことを想起し、自己の現状を理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分が逃げられるか。 ・お父さん、お母さんが無事か ・自分の家が無事か ・コミセンまで火がきたら ・館山も噴火したら ・石が飛んできたら <p>(2) 学習課題を設定する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>岩手山は火山だけれど、あんしんをふやそう。</p> </div>	<p>○掲示物を用い、「岩手山」の素晴らしさについて確認する。</p> <p>○岩手山が火山であることを確認する。</p> <p>○子どもたちから出ていた不安を取り上げ、災訓練の際に感じた気持ちを想起できるようにする。</p> <p>○自分が当てはまるものを把握できるように、ワークシートに記入欄を設ける。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>評価：火山噴火の危険回避について自分の現状を理解している。（アンケート回答）</p> </div> <p>○寸劇を通して、「安心を増やしたい」という気持ちを喚起する。</p>
展開 28分	<p>3 火山噴火に関する知識を得ながら、それらを学ぶ方法を知る。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>知識</p> <ul style="list-style-type: none"> ○田頭小には火山泥流が到達する可能性がある。 ○コミュニティセンターは安全な場所である。 ○家の場所によって、危険度が違う。 ○館山は、噴火しない。 ○灰を吸わないための装備がある。 <p>学ぶ方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ○お父さん、お母さんと話し合う。 ○友達と話し合う。 ○先生のお話を聞く。 ○副読本で勉強する。 ○ニュースやインターネットを見る。 ○イーハトーブ火山局に行く。 ○その他 </div> <p>4 意思決定をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・挑戦したいことを自分で選択する。 ・ワークシートに記入する。 ・迷っている友だちに対して、一緒に考える。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>あんしんをふやすために してみたいことは _____ です。</p> </div>	<p>○「上級生が学習している内容」として紹介することで、具体的にイメージをもつことができるようにする。</p> <p>○「知識」には、課題設定の際の「不安」に応える内容を取り上げる。</p> <p>○子どもたちの「もっと見てみたい」「挑戦してみたい」という意欲を喚起するため簡単な紹介に留める。</p> <p>○「知識」と「学ぶ方法」を分けて板書に位置付ける。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆火山防災マップ ◆防災副読本(P2,P10,P11) ◆イーハトーブ火山局パンフレット ◆岩手山火山防災パンフレット <p>○「学ぶ方法」に挙げた7つの中から手掛かりを見つけさせる。</p> <p>○お互いにアドバイスをし合うことで、考えが深まるようにする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>評価：火山噴火の危険回避について取り組んでみたいことを考えている。（発言、ワークシート）</p> </div>
終末 7分	<p>5 学習をまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「してみたいこと」を発表する。 <p>6 学習を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「そなえる」ができたよさを振り返る。 	<p>○「理由」にも言及するよう促す。</p> <p>○寸劇を通して、「安心」につながる方法を見出せたことを自覚させる。</p>

